

【授業科目】 特別研究Ⅲ（産業看護学）

Master's ThesisⅢ

担当教員	開講年次	選択必修	単位数	時間数	授業形態	オフィスアワー
柴田英治、後藤由紀、大谷喜美江	2年次 後期	選択	3	90	演習	巻末掲載
授業概要 (内容と進め方) 及び 課題に対する フィードバック 方法	特別研究Ⅱで立案した研究計画に基づき、自己の研究課題について倫理的問題に配慮しながらデータ収集を行う。収集データについて、様々な視点からデータ分析、考察を行い、修士論文としてまとめる。 課題に対するフィードバック方法/スーパーバイズを適宜実施する。討議やプレゼンテーションを通してコメントを行う。					
授業の 位置づけ	本大学院のディプロマ・ポリシーの①③④の達成に寄与している。					
到達目標 (履修者が 到達すべき 目標)	1. 対象者に倫理的配慮をしたうえで適切な研究方法を用いてデータを収集し、客観的・科学的に分析できる。 2. 研究結果をわかりやすく記述し、客観的・科学的な考察を加えて論文を作成できる。 3. 研究成果としての新しい知見の妥当性・信頼性について客観的な評価を受け、論文の完成度を高めるために修正することができる。 4. 研究の結論から、看護実践への提言と研究の限界について認識を深めることができる。					
時間外学習 に必要な 内容・時間	<p>次回の授業の課題を検討する (120分)</p> <p>※上記時間については、指定された学習課題に要する標準的な時間を記載してあります。日々の自学自習全体としては、各授業に応じた時間 (2単位15回科目の場合：予習+復習4時間/1回) (1単位15回科目の場合：予習+復習1時間/1回) (1単位8回科目の場合：予習+復習4時間/1回) を取るよう努めてください。詳しくは教員の指導に従ってください。</p>					
授業計画	1～3 研究対象者、研究協力施設との調整 4～7 データ収集・整理、データの保管 8～15 データ分析 研究デザインに応じたデータ作成、指導者からのスーパービジョンの受け方 16～43 修士論文の作成 1)序論 2)方法 3)結果 4)考察 5)看護実践への提言 6)結論 7)要約 44・45 発表と評価					全て 柴田 後藤 大谷
評価方法 評価基準	学位論文審査 (学位規定による)					
教科書	適宜紹介する。		参考書等	適宜紹介する。		